

水害対策調査特別委員会

令和3年6月22日(火)

午前9時58分～午前10時13分

議会第1会議室

【出席委員】重松 徹委員長、松永憲明副委員長、西岡真一委員、久米勝也委員、
川副龍之介委員、山口弘展委員、武藤恭博委員、千綿正明委員、
中野茂康委員、川崎直幸委員、池田正弘委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】なし

【案 件】

・最終報告に向けた委員間協議

○重松委員長

ちょっと時間が早いですが、皆さんおそろいでございますので、ただいまから第11回水害対策調査特別委員会を始めたいと思います。

本日の議題でございますけども、最終報告案について委員間協議を行うこととしております。特に今日は確認事項が主になると思いますので、そんな時間はかからないと思います。

それでは早速議題に入りますけども、前回の委員会では、最終報告に向けて骨子案をもとに議論をいたしました。そのときに出された御意見をもとに、正副委員長で最終報告の案を作成しています。皆さん方、もう見ていただいていますかね。これについて、協議していきたいと思っております。何かありましたら、後で御意見等をお伺いします。

それでは最初に、議会事務局のほうから朗読をしていただきたいと思います。

◎報告書案の書記朗読

○重松委員長

ありがとうございました。

報告書案ですけども、今までの皆さんの意見を集約して、それを網羅しながら、協議して作成したわけですが、特に6ページの最後ですね、災害復旧に係る入札不調については前回、最終報告に向けた骨子案をもとに、協議した中で出されたことございます。これは、実は経済産業委員会でもですね、ここにいらっしゃいます千綿経済産業委員長のほうから、繰越し明許が多いんじゃないかと。これが慣習になっているのかですね、少し減らしたらどうかということで、その一つの原因として、やっぱりこの入札不調の問題が、委員のほうから出ました。

人手不足の中で、仕事をとって、なかなか利幅がないということで、場所によっては、

赤字が出る箇所もあるということで、なかなか入札不調が解決出来ないということで、こちら辺を解決するためには、やっぱり佐賀市独自の上乗せ基準を設定する。そういった形をとって、可能な限り入札不調を返したらどうかということですね、4番に持ってきております。なかなかですね、改修しないといけないけれども、入札不調が続いておりますので、その対策も一つ大事じゃないかなということでございます。

今、申し上げましたけれども、皆さんの方から、この件について何か御質疑等ございましたらお願いします。

◎最終報告書についての委員間協議

○重松委員長

はい、ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

よろしかったらこの案で提出をしたいと思います。次は大体、8月定例会中に、最終的に皆さんたちの確認をとりたかったんですけども、今日、もうこれでいいということであれば、8月の委員会はしなくてもいいと思います。

真っすぐ8月定例会最終日の水害対策の委員長報告という形になりますので、あとの微調整については、正副委員長に一任させてもらっていいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり。)

そういった形で進めさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。

これで、本日の水害対策調査特別委員会を終わります。